

キャラクター名
アーニャ・テルミナ

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ノイマン		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	UGN日本支部エージェント
	オプショナル		年齢	18	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	飢餓	初期侵食率	39	%
出自	双子	経験	脱走	邂逅	同志	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	9
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	9
精神	3	0	0			3	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	6		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	10	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	1		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ポルトアクションライフル	射撃	3r+6		8		
ナイフ	射撃	3r+6		2		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
UGN戦闘服 II		15			エフェクトを組み合わせた判定に+2個(UG;P35)

所持品	
トランスディミナー	
評議員命令	
コネ:基本7種	
コネ:アッシュ・レドリック	
コネ:テレーズ・ブルム	
錬金秘本	
デモンズシード	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
諜報員	P	N		
アッシュ・レドリック	P	感服	N	同族嫌悪
テレーズ・ブルム	P	尽力	N	隔意
	P		N	
	P		N	
	P		N	
最大財産P:	24	残り財産P:	112	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ノイマン	3	2	メジャー					
効果: c値-Lv(下限値7)。								
コンバットシステム:射撃	3	3	メジャー					
効果: 判定のダイス+[Lv+1]個								
天性のひらめき	3	4	メジャー					
効果: c値-Lv(下限値7)。戦闘中不可。								
砂の加護	3	3	オート	視界	単体			
効果: 判定のダイス+[Lv+1]個								
ファンアウト	1	4	セットアップ	至近	範囲(選択)			
効果: 戦闘移動を行う。あなたを対象にできない。シナリオLv回								
ブラックマーケット	3	基本+2	常時					
効果: 常備化ポイント+[Lv×10]								
病める探求	1	6	メジャー				飢餓、120	
効果: c値-1(下限値5)、使用後暴走を受ける。シナリオ1回								
黄金錬成	4	基本+3+2	常時					
効果: 常備化ポイント+[Lv×15](錬金秘本適用済み)								
テクスチャーチェンジ	★							
効果:								
煽動家	★							
効果:								
真相告白	★							
効果:								
暗号解読	★							
効果:								
成分分析	★							
効果:								

パーソナル
両親はロシア系の移民。子供が生まれる前にフランスへ移住。
双子の姉マーニャとともに平凡な幼少期を過ごす。
しかし、9年前の9歳の時、遺産とそれに伴うジャームによる事件に巻き込まれて両親及び双子の姉が死亡。
その際にオーヴァードとして覚醒。事件はUGNによって解決したが3人とも遺体は見つからず、遺産に取り込まれたと判断。アーニャ本人には単純に事故に巻き込まれて死亡したと説明された。その後、彼女はチルドレンとしてUGNフランス支部に保護。

オーヴァードとしての能力は非常に優秀であり、3年前の15歳の時にUGNヨーロッパ支部の情報工作部隊「ミラージュバイト」へ配属される。UGNエージェントとして情報の隠蔽・操作を主に扱っていた。また、家族を失った原因となった遺産に関連した情報収集にも意欲的。「テレーズ・ブルム」とは遺産の関連の情報収集を依頼される。他のエージェントと比較して年も近いためか何度も依頼を受けており、アーニャ自身も危険度の高い遺産についてテレーズへ情報を渡し、問題を解決してもらったこともあった。

そのまま2年間以上、ミラージュバイトで一般人への情報の隠蔽・操作の任務を全うするが、任務を行うたびに今のUGNのあり方がUGNの理念である「一般人とオーヴァードの共存」に反しているのでは？と疑問が積み、数ヶ月前にUGNを脱走。フリーランスでの情報屋を考える。
しかし、脱走は失敗。UGN本部査察部第4課「マリア・チェスノコフ」に捕縛される。何故だかその場での処分はされず、UGN本部への出頭命令が下され、「アッシュ・レドリック」からミラージュバイト所属の情報操作・収集技能やUGNへの現状への考え方などを見込まれ、UGN本部情報本部への出向が決定。

UGN本部情報本部エージェントとして数ヶ月間所属した現在、UGN内部では中立派としての立場としているが、どちらかと言えば、穏健派に近い考え。確かに各支部ごとに事件の対応している現状ではFHならびにジャームへの対処も不十分のため、本部の権力強化には賛成している。特にUGN日本支部はFHからのマークが厳しい上、現状では「霧谷雄吾」に大きく負担が掛かっていることに憂慮している。しかし、改革派が「非オーヴァードの排斥」を掲げている以上、「一般人とオーヴァードの共存」とは言えないため改革派の立場にはなれないと考えている。

